

スタートガイド

取扱説明書

パーソナルコンピューター

VAIO® Pro PA VJPA11



4 - V 0 0 - 9 6 1 - 0 1

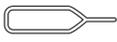
Printed in Japan
© 2018 VAIO Corporation

1. 付属品について

- ACアダプター
- 電源コード^{*1}
- デジタイザースタイラス(ペン)^{*2}



- 単6型アルカリ乾電池(ペン用)^{*2}
- SIMカード(無線WAN機能搭載モデル)^{*2}
- SIMトレイピン(無線WAN機能搭載モデル)^{*2}
尖った部分がありますので、取り扱いにご注意ください。思わぬけがをするおそれがあります。また、小さなお子様が誤って飲み込まないよう、保管場所にご注意ください。



- クリーニングクロス
- セキュリティーロックスロットアダプター^{*2}



- 取扱説明書(「取扱説明書について」を参照)
- 主な仕様
- 保証書
- Office パッケージ^{*2}

- パンフレット類
大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

^{*1} 付属の電源コードは、AC100V用です。

^{*2} お買い上げ時の選択によっては、付属しない場合があります。

＜ヒント＞

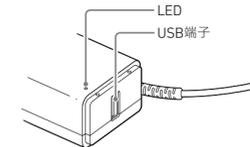
「Office」を使い始めるには、プロダクトキーの入力が必要です。詳しくは、Officeパッケージをご覧ください。

！ご注意

- 付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 付属品はお使いのVAIOのみで動作保証されています。
- VAIOはハードディスクまたはSSDからリカバリーすることができるため、リカバリーメディアは付属しておりません。ただし、ハードディスクまたはSSDからリカバリーできなくなる場合もあるため、VAIOをお買い上げ後、必ずリカバリーメディアを作成してください。リカバリーメディアの作成方法、およびリカバリー方法について詳しくは、別紙「リカバリーとトラブル解決」の「バックアップ/リカバリー」をご覧ください。

ACアダプターのUSB端子を使って外部機器を充電するには

- 1 お使いの外部機器がUSB充電に対応しているか確認する。
- 2 USB充電対応機器に付属している充電用USBケーブルなどを使って、ACアダプターのUSB端子と接続する。



！ご注意

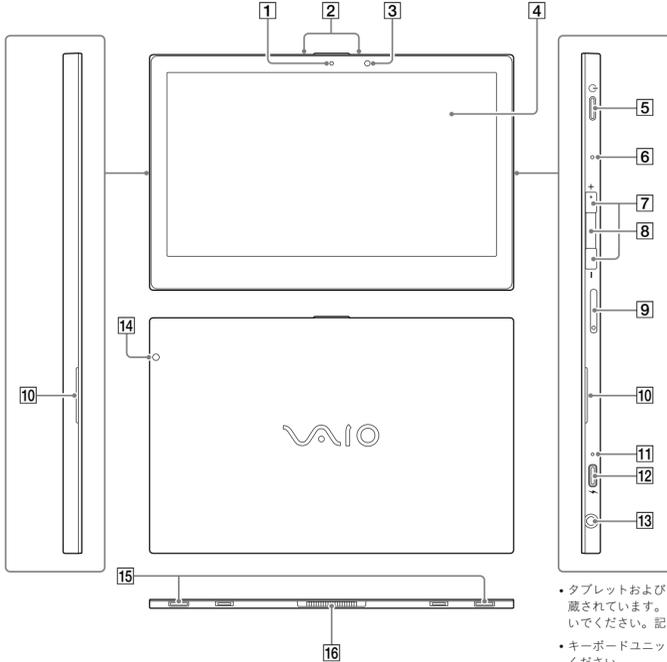
接続した機器の消費電流が本製品のUSB出力の定格を超えると、そのUSB端子への電源供給は停止します。接続した機器の消費電流が軽減されると、充電が再開されます。

仕様：USB出力 DC 5.0 V、1.0 A

USB充電に対応した機器でも、機器によってはACアダプターのUSB端子を使用できないことがあります。

2. 各部名称

タブレット



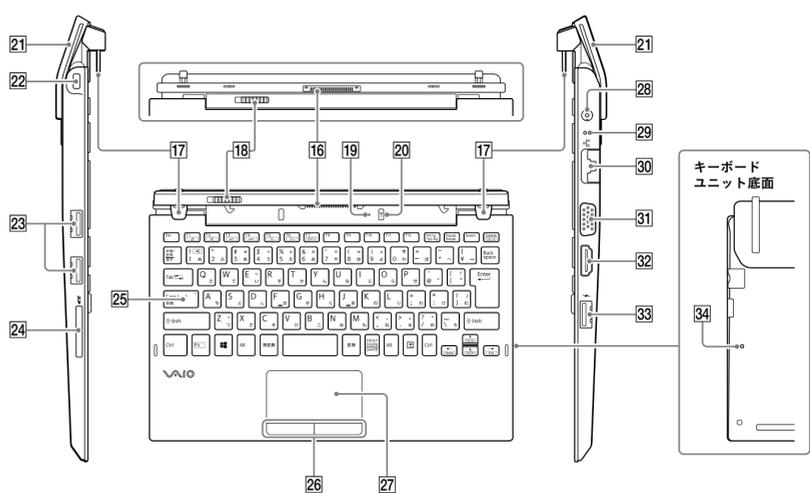
- 1 カメラ/顔認証対応カメラ
- 2 ステレオマイク
- 3 赤外線LED (顔認証対応カメラ搭載モデル)
- 4 液晶ディスプレイ(タッチパネル搭載)
- 5 電源ボタン/電源ランプ
- 6 バッテリーオフボタン
- 7 音量調節ボタン
- 8 指紋センサー (指紋センサー搭載モデル)
- 9 microSIMカードスロット(無線WAN機能搭載モデル)
- 10 ステレオスピーカー
- 11 充電ランプ
- 12 USB Type-C™端子(USB 3.0)
この端子は、下記の規格に対応しています。
 - USB充電(BC 1.2 IN/OUT)
 - DisplayPort Alternative Mode
 - USB Power Delivery (IN)
- 13 ヘッドセット対応ヘッドホン端子
- 14 背面カメラ(背面カメラ搭載モデル)
- 15 ドッキングガイド

！ご注意

- タブレットおよびキーボードユニットのバッテリーは取りはずれません。

- タブレットおよびキーボードユニットのドッキングコネクタ付近には、磁石が内蔵されています。クレジットカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。記録されているデータが破損することがあります。
- キーボードユニットのドッキングコネクタ部分は、指で直接触らないようにしてください。
- キーボードユニットのHDMI端子とモニター端子を同時に使用することはできません。
- VAIOの電源を入れたままバッテリーオフボタンを押すと、作業中のデータが失われる可能性があります。作業中のデータを保存し、VAIOの電源を切ってからバッテリーオフボタンを押してください。

キーボードユニット

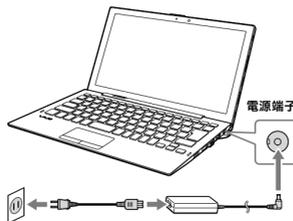


- 16 ドッキングコネクタ
- 17 ガイドピン
- 18 リリースレバー
- 19 ワイヤレスキーボード状態ランプ (ワイヤレスキーボード機能搭載モデル)
- 20 ワイヤレスキーボードOn/Offボタン (ワイヤレスキーボード機能搭載モデル)
- 21 フラップ
- 22 セキュリティーロックスロット
- 23 USB端子(USB 2.0)
- 24 SDメモリーカードスロット
- 25 Caps Lockランプ
- 26 左/右ボタン
- 27 タッチパッド
- 28 電源端子
- 29 充電ランプ
- 30 LAN端子
- 31 モニター端子
- 32 HDMI端子
- 33 USB端子(USB 3.0)
この端子は、USB充電(BC 1.2 OUT)に対応しています。
- 34 バッテリーオフボタン (キーボードユニットバッテリー搭載モデル)

3. セットアップする

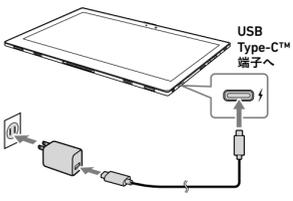
1 電源につなぐ

ACアダプターに電源コードを接続し、ACアダプターのプラグをキーボードユニットの電源端子につなぎます。



タブレット単体で電源につなぐ

USB Power Delivery対応のACアダプターやモバイルバッテリーを使用することができます。



！ご注意

- お使いのキーボードユニットにバッテリーが搭載されている場合、電源につないだときにタブレットのバッテリーが優先的に充電されます。
- タブレットのUSB Type-C™端子にUSB ACアダプターをつなぐ場合、機器によっては画面に充電中の表示がされない場合があります。その場合は、タブレットの充電ランプで充電状況を確認してください。充電中の場合はランプが点灯し、充電完了時に消灯します。充電ランプは、点灯までに時間がかかる場合があります。
- 付属のACアダプターのUSB端子を使ってタブレットのUSB Type-C™端子につないで充電するときは、以下の手順に従って設定を変更してください。
 - ① [スタート]を選択し、メニューから[VAIOの設定]を選択する。
 - ② [ハードウェア]を選択し、「USB Type-C 受給電」で[1.0A (出力電流 1.5A未満)]を設定する。

2 電源を入れる

タブレットの電源ボタンを押す。



キーボードユニットを取り付けている場合は、ディスプレイを開いた状態で電源ボタンを押してください。

！ご注意

- ディスプレイを開くときは、カメラ部分を持たないでください。故障の原因となります。
- Windowsのセットアップ画面が表示されるまで、電源を切らずにお待ちください。

3 Windowsのセットアップ(初期設定)を行う

Windowsのセットアップ画面の指示に従って、初期設定を行います。

！ご注意

お買い上げいただいたVAIOには、最新のWindows 10アップデートプログラムが適用されています。アップデートプログラムの適用により、WindowsのセットアップなどのWindows画面上における操作手順が、本書に記載している内容から変わる場合がありますので、ご了承ください。VAIOサポートページに、Windowsのセットアップやその他の操作説明に関する情報を公開しておりますので、お手持ちの携帯端末やスマートフォンからご確認ください。
<https://support.vaio.com/beginner/>

4 インターネットに接続する

インターネットに接続するには、お使いのVAIOで設定をする前に接続する回線を決め、プロバイダーと契約するなどの準備が必要です。お使いのVAIOは、Wi-Fi(無線LAN)または有線LANを使用してインターネットに接続できます。インターネットに接続するための設定や機器について詳しくは、プロバイダーから送付されたマニュアルや、接続機器に付属のマニュアルをご覧ください。インターネットに接続すると、Windowsのライセンス認証が自動的に完了します。

青少年がおられるご家庭の皆様へ

青少年が安全に安心してインターネットを利用するための情報をVAIOサポートページで公開しています。ご家庭で青少年がインターネットを利用する場合は、事前にご確認ください。
<https://support.vaio.com/security/filtering/>

5 重要な設定/準備を行う

「Windows Update」を実行する

- 1 [スタート] - [設定] - [更新とセキュリティ]を選択する。
- 2 [Windows Update]を選択し、画面の指示に従ってアップデートする。

VAIOオリジナルソフトウェアをアップデートする

VAIOオリジナルソフトウェアのアップデートを行うには、VAIOサポートページからアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。

<https://support.vaio.com/software/update/>

6 リカバリーメディアを作成する

別紙「リカバリーとトラブル解決」にある手順に従って、リカバリーメディアを作成してください。リカバリーメディアはVAIOに付属していませんが、VAIOをお買い上げ後、必ずリカバリーメディアを作成してください。

リカバリーメディア送付サービスのご案内

リカバリーを行うのに必要なリカバリーメディアを有償で送付するサービスもあります。詳しくは、下記のサポートページをご覧ください。
<https://support.vaio.com/service/recovery/index.html#anc04>



！ご注意

リカバリーを行うときは、タブレットをキーボードユニットまたはクレードルに取り付けて、必ずACアダプターで電源に接続してください。

＜ヒント＞

セットアップ終了後に、VAIOをシャットダウンまたはスリープモードにするには、[スタート] - [電源]を選択して、[シャットダウン]または[スリープ]を選択してください。

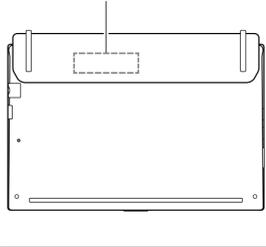
認証表示等の表示場所について

VAIO本体の認証に関する表示等は、以下の手順で確認できます。

- 1 VAIOの電源が切れている状態で、タブレットの音量調節ボタンの十側または一側を押しながら電源ボタンを押し、「VAIO レスキューモード」を起動させる。
- 2 [認証情報を表示]を選択する。

キーボードユニットの認証に関する表示等は、以下の場所にあります。

ノートPCモードの状態ではディスプレイを開き、底面のフラップを持ち上げて確認できます。



5. 4つのモードでVAIOを使う

VAIOの4つのモードについて

VAIOを4つのモードに変形させることで、シーンにあわせた使いかたをすることができます。

ノートPCモード

タブレットをキーボードユニットに取り付けて、ノートPCのように使います。

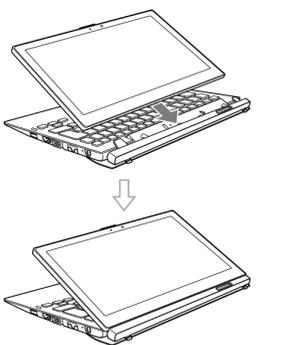


①ご注意

- キーボードユニットのキーボードバックライトは、ノートPCモードのときのみ点灯します。
- ノートPCモード以外では、キーボードユニットにある端子に外部機器を接続して使用することはできません。

ビューモード

タブレットのディスプレイを外側にしてキーボードユニットに取り付けます。ディスプレイのみで動画再生などをしたいときや、自分と対面する相手に画面を見せたいときにお使いください。



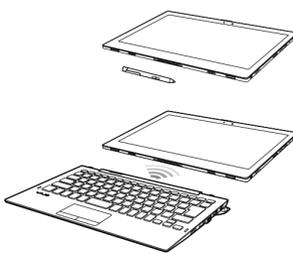
①ご注意

- ビューモードで使用中は、キーボードユニットにACアダプターをつないでいても、タブレット側に給電されません。
- お使いのキーボードユニットにワイヤレスキーボード機能が搭載されていない場合、ビューモードで使用中はキーボードで操作できません。

タブレットモード

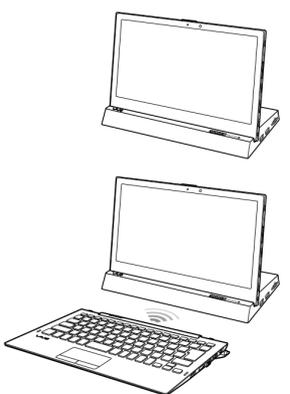
タブレットとしてタッチ操作したいときや、ペン(デジタルースタイラス)を使いたいときにお使いください。

また、お使いのキーボードユニットにワイヤレスキーボード機能が搭載されている場合、タブレットとワイヤレス接続することで、キーボードで操作することができます。



クレードルモード

別売りのクレードルにタブレットを取り付けて、タブレットを立てかけた状態で使います。(デジタルースタイラス)を使いたいときにお使いください。また、お使いのキーボードユニットにワイヤレスキーボード機能が搭載されている場合、タブレットとワイヤレス接続することで、デスクトップPCのように使用することができます。クレードルの使いかたについて詳しくは、クレードルに付属の取扱説明書をご覧ください。



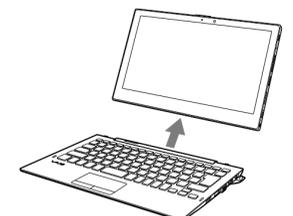
タブレットを取りはずす／取り付ける

タブレットを取りはずす

1 キーボードユニットのリリースレバーを左側にスライドさせて、ロックを解除する。

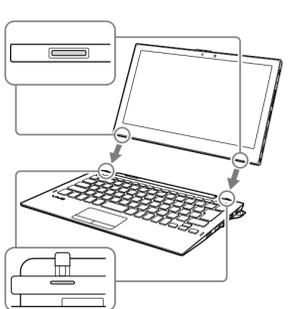


2 キーボードユニットを片手で押さえながらタブレットを持ち上げる。



タブレットを取り付ける

1 タブレットのドッキングガイドを、キーボードユニットのガイドピンの位置に合わせて差し込み。リリースレバーが自動的に右側にスライドして、ロックされます。



①ご注意

•カバンなどに入れて持ち運ぶときは、必ずノートPCモードにし、ディスプレイを閉じた状態で持ち運んでください。

•持ち運ぶときは、キーボードユニットのフラップ部分のみを持たないようにしてください。フラップが破損したり、タブレットがはずれたりしてけがや故障の原因となるおそれがあります。

•キーボードユニットにタブレットを取り付けるときは、キーボードユニットとタブレットの間に指や異物などを挟み込まないようにしてください。

•キーボードユニットのリリースレバーのロックが解除されていると、リリースレバー上にオレンジ色の表示が見えます。タブレットをキーボードユニットに取り付けたあとは、必ずリリースレバーのオレンジの表示が消えてロックされていることを確認してください。ロックが解除されたままになっていると、持ち上げた際にタブレットがはずれて落下し、けがや故障の原因となるおそれがあります。

•キーボードユニットのリリースレバーを操作すると、作業中の内容が失われる可能性があります。キーボードユニットにタブレットを取り付ける／取り外すときは、作業中のデータを保存してから行ってください。

•動画再生中に本体のモードを変更すると、VAIOの動作が不安定になる場合があります。動画再生中にモードを変更するときは、動画再生アプリを終了してから行ってください。

•一度タブレットを取りはずすと、キーボードユニットやクレードルに接続しているUSB機器からスリープ状態を解除させることができなくなります。また、LAN端子からWake on LANさせることもできなくなります。

6. ワイヤレスキーボード機能を使う(ワイヤレスキーボード機能搭載モデル)

キーボードユニットとタブレットをワイヤレス接続することで、少し離れた場所からでもキーボードを操作することができます。お買い上げ時の設定では、キーボードユニットからタブレットを取りはずすだけでワイヤレスキーボード機能が自動的にオンになり、すぐにお使いいただけます。

②ポイント

ワイヤレスキーボード機能がオンの場合は、タブレットを取りはずしたときにワイヤレスキーボード状態ランプが10秒間点灯します。

ワイヤレスキーボード機能のオン／オフを切り替える

1 ワイヤレスキーボードOn/Offボタンを短く押し、ワイヤレスキーボード状態ランプの点灯／消灯を確認する。点灯している場合はワイヤレスキーボード機能がオン、消灯している場合はワイヤレスキーボード機能がオフになっています。

2 ワイヤレスキーボードOn/Offボタンを2秒以上長押しすると、ワイヤレスキーボード機能のオン／オフが切り替わります。

キーボードユニットとタブレットをペアリングする

別のキーボードユニットを接続する場合は、以下の手順に従って操作してください。

- ペアリングしたいタブレットをキーボードユニットに取り付ける。
- [スタート]** (スタート)を選択し、メニューから**[VAIOの設定]**を選択する。
- [ハードウェア]**を選択し、**[ワイヤレスキーボードペアリング]**の**[設定]**を選択する。
- 画面の表示に従って、**[OK]**を選択する。
- [ペアリングは成功しました。]**と表示されたら、**[OK]**を選択する。

①ご注意

•ワイヤレス接続ができないときは、ワイヤレスキーボード機能がオフになっていないか確認してください。ワイヤレスキーボード機能がオンでも接続できない場合は、ペアリングを行ってください。

•VAIOの「機内モード」が「オン」になっている場合は、タブレットとキーボードユニットをワイヤレス接続することはできません。接続する前に、「機内モード」を「オフ」にしてください。

•1台のタブレットに対し、2台以上のキーボードユニットを同時にワイヤレス接続しないでください。動作が不安定になる場合があります。

•ワイヤレスキーボード機能を使用しない場合は、ノートPCモードに切り替えるか、「ワイヤレスキーボード機能のオン／オフを切り替える」の手順に従ってワイヤレスキーボード機能をオフにしてください。

また、ワイヤレスキーボードOn/Offボタンを6秒以上長押しすると、ワイヤレスキーボード機能が強制的にオフになります。

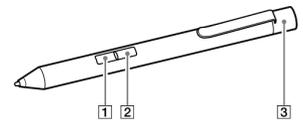
•ワイヤレスキーボード機能をお使いの場合、**Caps Lock**ランプは省電力のため10秒経過すると消灯します。

②ポイント

キーボードユニットとタブレットの距離は、1 m以内でご使用いただくことをおすすめします。

7. ペンを使う(ペン付属モデル)

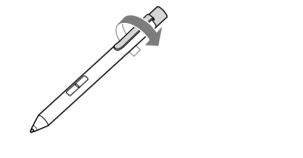
各部名称



- 下側ボタン
- 上側ボタン
- テールキャップ

ペンを準備する

ペンに乾電池を入れると操作できる状態になります。乾電池を消耗し、ペンでの操作が正しく行えなくなった場合は、新しい乾電池と交換してください。**1** テールキャップをはずす。



ペン先を交換するには

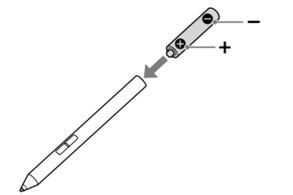
1 ペン先をペンセットなどでつまみ、ペン本体からはずれるまでまっすぐ引き抜く。



①ご注意

ペン先は付属していません。交換用のペン先について詳しくは、VAIOサポートセンターにお問い合わせください。

2 付属の乾電池の＋／－の向きを確認し、＋側をペン先に対し下方向に入れて入れる。



3 テールキャップを取り付ける。

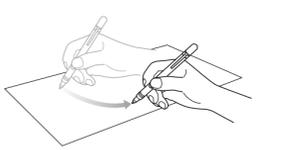
①ご注意

•市販の充電式の乾電池には対応していません。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。

•残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとペンに入れたままにしておくとも液もれを起こす原因となります。

ペンの使いかた

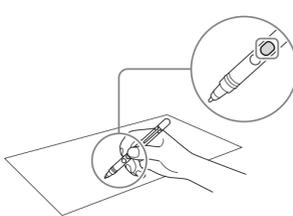
画面上のポインターを移動するには
ペンを画面に近付けてペン先を動かします。



クリックするには(タップ)
タッチパネル上の希望の位置を1回押して離します。

ダブルクリックするには(ダブルタップ)
タッチパネル上の希望の位置をすばやく2回連続で押して離します。

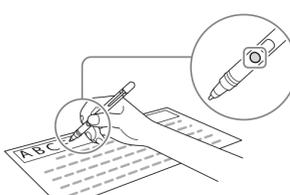
右クリックするには(長押し)
ペンの上側のボタンを押しながら、タッチパネルにペンを近付けて希望の位置を1回押して離します。タッチパネル上の位置によって、さまざまな内容のメニューが表示されます。



タッチパネル上の希望の位置を押し続けたまま、数秒間そのままにしてから離しても同じ操作ができます。

ドラッグするには
ペンをタッチパネル上の希望の位置に軽く押しつけながらずらします。

入力した文字などを消すには
アプリによっては、入力した文字をペンで消すことができます。ペンの下側のボタンを押しながら、タッチパネルにペンを近付けて希望の位置に軽く押しつけながらずらします。



①ご注意

必ず付属の専用ペンをお使いください。

8. Windows Helloについて(指紋センサー／顔認証対応カメラ搭載モデル)

お使いのVAIOでは、指紋センサーや顔認証対応カメラを使用して「Windows Hello」の機能を使用することができます。「Windows Hello」では、指紋や顔が登録されているユーザーのアカウントに対して、パスワード入力代わりに指紋認証または顔認証を使用してWindowsにサインインすることなどができます。「Windows Hello」の機能やセットアップについて詳しくは、「Windows Hello」のヘルプをご覧ください。

指紋認証／顔認証についてのご注意

•指紋認証技術および顔認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。また、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。VAIOの指紋センサーや顔認証対応カメラを使用したこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害についても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

•指紋および顔の認証率は、使用状況などにより異なります。また、個人差があります。

•故障の原因となることがありますので、指紋センサーや顔認証対応カメラに傷や汚れをつけないでください。

•VAIOの修理などを行った場合、登録済みのお客様の指紋情報や顔認証情報が消去されることがありますので、あらかじめご了承ください。

•指紋を登録するときは、けがなどに備えて複数の指を登録するようにしてください。

•指紋の状態や使用状況などにより、指紋の登録／認証ができない場合があります。その場合は、以下を行うことで改善されることがあります。

- 他の指を使用する
- 手を洗うなどして登録した際の状態に戻す
- すでに登録されている指紋のデータを一度削除し、指紋を登録し直す

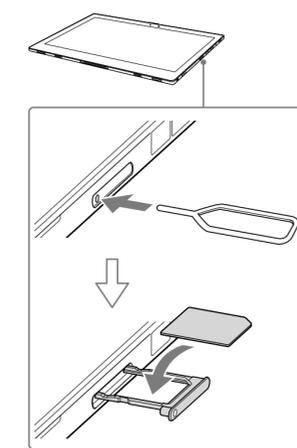
9. SIMカードを挿入する(無線WAN機能搭載モデル)

お使いのVAIOに無線WAN機能が搭載されている場合は、お手持ちのSIMカード(microSIMカード)を、VAIOのmicroSIMカードスロットに挿入して使用することができます。

1 VARIOの電源を切る

2 お手持ちのSIMカードを、タブレットの側面にあるmicroSIMカードスロットに差し込む

microSIMカードスロットにあるイジェクト穴に、付属のSIMトレイピンをまっすぐ差し込み、トレイを引き出します。microSIMカードをIC部分のある面を下にしてトレイに乗せ、microSIMカードスロットの奥までまっすぐ押し込んでください。



①ご注意

•SIMカードのIC部分を触らしないでください。SIMカードを挿入したり取り出したりするときは、タブレットをしっかりと固定してください。

•SIMカードを折り曲げたり、圧力をかけるなどして破損しないようご注意ください。

•SIMカードがしっかり挿入されていないと、無線WAN機能が使えません。

3 SIMカードの設定を行う

設定方法について詳しくは、お手持ちのSIMカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

①ご注意

お使いのSIMカードの種類によって、無線WAN機能のファームウェアが異なる場合があります。SIMカードを挿入してタブレットの電源を入れた際に、ファームウェアを変更している画面が表示された場合は、VAIOをスリープ状態に移行させたり、電源を切ったりしないでください。また、ファームウェアの変更中はネットワークが切断されます。

比吸収率(Body SAR)について

本機は、Body SARの対象となる無線モジュールを搭載しており、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

対象モジュールを搭載しているパーソナルコンピュータは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)が支持するガイドラインと同等のものとなっており、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率となっています。国の法律および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR : Specific Absorption Rate)で定めており、対象モジュールに対する局所SARの許容値は2.0W/kg(手首から先を除く手足は4.0W/kg)です。

Body SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省電波利用ホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/jj/sys/elet/index.htm>
RFエネルギーへの曝露を減らすため、表示画面から1.5 cm以上離れた位置で本機をお使いください。